

新着案内



『救われてんじゃねえよ』		
上村 裕香/著	新潮社	T/カコ
『しらんけどな』		
村上 しいこ/作	さ・え・ら書房	T/ムシ
『やさしい雪が降りますように』		
桃実 るは/著	河出書房新社	T/モル
『読書嫌いを覚醒させる至高のブックリスト』		
横道 誠/著	筑摩書房	T019/ヨマ
『下積み図鑑 すごい人は無名のとき何をしていたのか?』		
真山 知幸/著	笠間書院	T280/マト
『世界の力関係がわかる本 帝国・大戦・核抑止』		
千々和 泰明/著	筑摩書房	T319/チヤ
『図解でわかる14歳から知る世界の格差と資源危機』		
インフォビジュアル研究所/著	太田出版	T333/スカ
『不登校のあの子に起きていること』		
高坂 康雅/著	筑摩書房	T371/コヤ
『簡単&ポップな韓国スイーツ 行列店の“アレ”が自分で作れる』		
きゃらきゃら/監修	ブティック社	T596/カン
『猫がもっと愛しくなるねことば』		
山本 宗伸/監修	ナツメ社	T645/ネコ
『13歳からのマーケティング 人の“行動”と“心理”が見えてくる』		
永井 竜之介/著	総合法令出版	T675/ナリ
『ギュースターヴくんとまぼろしのどうぶつ』		
ヒグチ ユウコ/著	白泉社	T726/ヒユ



ティーンズのココロ通信

令和8年4月1日 発行

Eメール: info@lib-yama.jp

HP: https://www.lib-yama.jp

山口市立中央図書館 268号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL: 083-901-1040

FAX: 083-901-1144



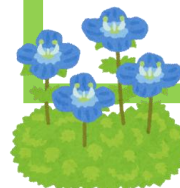
わくわく



今月のテーマは「わくわく」です。

入学、進学おめでとございます。いろんな変化に「どきどき」「わくわく」しているのではないのでしょうか？

「ティーンズのココロ通信」は山口市立中央図書館が発行している中高生向けの広報誌です。毎月テーマに沿っておすすめの本を紹介していますので、ぜひ手に取ってみてくださいね。



●『今日も誰かの誕生日』

二宮 敦人／作 光村図書出版 T／ニア

1年は365日もあるので、大体毎日誰かの誕生日ですよ。そんな365日のうち6日を取り上げた誕生日にまつわる作品集です。主人公は子供から大人まで幅広い年代です。個人的には、パティシェさんに弟子入りする小学生の話と、どうしても自分で自分の誕生日を祝いたくてそれが叶った小学生の話が好きです。誕生日に対する気持ちは人それぞれですが、みんながちょっとでも今日楽しかったな、と思って1日を終わることができればいいなと思います。(S.E)

●『ミムラの絵本日』

ミムラ／著 白泉社 KR019／ミム

著者厳選18冊の魅力が真摯な言葉で紡がれた宝箱のような絵本ガイドです。小学校の国語の教科書の中で出会ったほのぼのした2匹のカエルの話は毛布にくるまって読むのがオススメとのこと。得意げな顔でペダルを漕ぐ女の子が表紙に描かれたあの本は、手にするとミムラさんのエピソードもあいまって、自転車に乗り始めた小さな頃を思い出す人も多いのではないのでしょうか。ぜひ本書をきっかけに絵本の世界で新しい扉を発見するワクワクを味わってみてください。(R.S)

●『妖怪コンビニ 店長はイケメンねこ!』

令丈 ヒロ子／作 あすなろ書房 T／レヒ

コンビニは皆さんの身近にあるものですが、そこが人間以外の者しか利用できないコンビニだとしたら…そんなコンビニが身近にあったら。ちょっとワクワクしませんか。コンビニクッキングが好きなアサギは飼い猫のうめ也がコンビニに入るを目撃する。でもそのコンビニは「妖怪コンビニ」で、うめ也はその店長だった。アサギの思い出とともに悲しいうめ也の過去が明らかになる。

シリーズは5冊あります。(T.O)

●『かわいい！立体モチーフのクロスステッチ』

日本ヴォーグ社 T594／カワ

どのページを開いても可愛い～！となってしまうクロスステッチの作品が紹介されています。普段見かけるクロスステッチとは違って立体なのでまるでぬいぐるみのような感じですし、オーナメントとして飾ってもピンクッションとして使っても可愛いです。詳しい作り方はもちろんですが、クロスステッチの基礎や基本的なやり方も丁寧な解説が載っていて分かりやすいです。もちろん見るだけでも可愛らしくて楽しめるので満足できますよ。(S.E)

●『東京ホリデイ花さんぽ』

杉浦 さやか／著 祥伝社 291.3／スサ

東京の数々の花や緑の名所がキュートなイラストで紹介されている本書。庭園や公園はもちろんのこと、カフェや雑貨店も登場していて、どこも素敵な所ばかりです。植物の意匠がちりばめられた建物や、花モチーフファッションに身を包んだ人までも、余すことなく描かれています。各章は月ごとに分かれています。4月はまさに花盛りの時期。樹木や野草の可憐な花を身近に感じて「散歩してみようかな」という気持ちになれる1冊です。(R.S)

●『ガリバー旅行記』

ジョナサン＝スウィフト／作 講談社 TF／スシ

皆さん、ご存じの「ガリバー旅行記」。小人国、大人国、飛ぶ島、馬の国をめぐる。読んだことがありますか？もし、自分がこの状況に置かれたらはじめは驚きますが、本当にこんな国があったらわくわくします。知らない国を旅することもわくわくです。18世紀の当時のイギリスの社会や人間性を風刺した内容になっていて、そんなことを考えながら、改めて読んでみるのもいいかもしれません。(T.O)